

# 平成27年度第1回太田地域協議会会議録

平成27年4月28日

太田地域協議会

## 平成27年度第1回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■副市長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	5
■協議	5
(1) 平成26年度地域枠予算実績報告について	5
(2) 平成27年度地域枠予算執行事業について	6
(3) 太田地域振興計画(案)について	10
■その他	11
(1) コミュニティFMについて	11
■閉会	16
■署名	16

# 平成27年度 第1回太田地域協議会 会議録

---

■日 時：平成27年4月28日（火） 午前10時

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

伊藤 勝良、大信田 孝文、川原 猪利、小松 泉、  
鈴木 栄子、高橋 文子、高橋 清一郎、富木 勇、  
根本 昇、水谷 英明

■欠席委員：6名

石崎 尚、柏谷 良雄、小松 昌之、小柳 真理子、  
高貝 恵子、高橋 洋

■出席職員：12名

老松 博行（副市長）	安達 成年（太田支所長）
谷口 藤美（市民サービス課長）	福原 幸二（市民サービス課参事）
佐藤 朗（農林建設課長）	煤賀 義博（農林建設課参事）
煤賀 康典（太田公民館長）	富樫 真司（企画部総合政策課参事）
藤澤 寿史（地域活性化推進室副主幹）	菅原 直久（地域活性化推進室主席主査）
高橋 靖弘（まちづくり課主席主査）	佐々木 翔（まちづくり課主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 副市長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
  - （1）平成26年度地域枠予算実績報告について
  - （2）平成27年度地域枠予算執行事業について
  - （3）太田地域振興計画（案）について
- 6 そ の 他
  - （1）コミュニティFMについて
- 7 閉 会

---

(午前10時00分 開会)

○安達太田支所長（以下「支所長」と表記）

皆さん、おはようございます。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

会を始める前に、新年度になりまして職員の異動もございました。私の方から今日出席の職員の紹介をさせていただきます。

(職員紹介)

○支所長

それでは、始めたいと思います。会長から開会の宣言とご挨拶をいただきたいと思います。高橋会長、お願いします。

○高橋太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

今日は大変お忙しい中、老松副市長、総合政策課からご出席いただきましてありがとうございます。それから、10周年記念ということで鈴木栄子さん、大変ご難儀かけました。ありがとうございます。これから大仙市は、5年先、10年先、20年先と色々な施策を組んでいこうと思えます。こういう経済、社会変化の激しい時には大変だろうと思えます。本当にご難儀をかけます。

そして私ども、この地域はしっかりと足元を見て、そして他地域とも協力しながら自分の良さを、特徴をしっかり掴んで、新しい支所長と一緒に新たな気持ちでスタートしたいと思っております。

それでは、ただいまから平成27年度第1回太田地域協議会を開会いたします。よろしくをお願いいたします。

○支所長

ありがとうございます。続きまして、老松副市長が皆さんにご挨拶を申し上げます。

○老松大仙市副市長（以下「副市長」と表記）

あらためて自己紹介させていただきます。副市長の老松博行と申します。副市長、満3年過ぎまして4年目に入りました。任期の最後の年ということになりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

だいぶ長い挨拶文を持ってきましたけれども、分かりやすくお話させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、ご多忙にもかかわらず平成27年度太田地域協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

日頃から委員の皆様には、地域協議会委員としてのお仕事はもちろんでありますけれども、それぞれの立場から市政の様々な分野におきまして、それぞれご協力をいただいているところであります。この場をお借りして厚く厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

大仙市はこの春、記念すべき誕生10周年を迎えました。3月22日には、多くの市民の皆様のご参加のもと「大仙市誕生10周年記念式典」を挙行了したところであります。先ほどご紹介ありました、鈴木栄子さんには実行委員ということで大変ご難儀をおかけしましたけれども、おかげさまで大変皆さんから喜ばれる式典ができたなというふうに思っております。ありがとうございました。

式典の中では、これまでの歩みを振り返りまして、決意を新たに次の10年のスタートを切るということでありました。無事スタートを切ることができたというふうに思っております。この節目の年を迎えることができましたのも、市民の皆さんや大仙の未来を思う方々からのご理解とご支援のおかげであるというふうに思っております。心から感謝を申し上げたいと思います。

この10年を振り返りますと、市民の皆様の福祉増進や本市の発展に向けた事業など、数多くの取り組みを行ってまいりましたが、その中でもとりわけ大きな事業となりましたのは、やはり圏域住民14万人にとって念願でありました地域の中核病院、仙北組合総合病院の改築であります。市街地再開発事業によりまして、大曲厚生医療センターとして新たに開院できましたことは、圏域住民の命と健康を守り、健やかな暮らしの実現につながる大きな成果であったと思っております。

現在の市街地再開発事業につきましては、旧仙北組合総合病院があった南街区の整備に移っておりまして、南街区には健康増進センターや社会福祉協議会が入る「健康福祉棟」、それから認定子ども園となる「児童福祉棟」、そして大曲商工会議所などが入る「事務所棟」、及び地上4階建ての「駐車場棟」が整備され、本年9月末には全ての施設が完成いたします。10月には竣工式、そして11月からオープンというふうになると聞いております。

このうち健康福祉棟には、今年8月に開局するコミュニティFM「FMはなび」のスタジオも入居することになっております。今日、コミュニティFMにつきましてはこのあと説明があるようですので、よろしく願いいたします。各地域のイベントをはじめとした地域に密着した情報を発信するほか、災害時には市民の皆さんへ緊急情報伝達手段としての役割も担うこととなっており、地域活性化や防災対策の観点から大いに期待しているところであります。よろしく願いいたします。

また、こうした取り組みのもとになります「大仙市総合計画」につきましては、平成28年度から37年度までを計画期間とする新たな総合計画の策定に向け、現在作業を進めているところであります。これまでの取り組みをしっかりと検証しながら、より市民目線に立った実効性のある「新たな羅針盤」にしたいというふうに考えております。

また、これにあわせ、皆様方には大変ご難儀をおかけしておりますけれども、総合計画の地域版となる「地域振興計画」も策定することとしております。現在、地域協議会の皆様からのご協力をいただきながら策定作業を進めておるところでありますけれども、太田

地域に関しましてはもう原案が整っているというふうにお聞きしております。10年先を見据えた「地域の目指すべき姿」と、それを実現するための具体的な取り組みにつきまして、皆様と一緒に考えてまいりたいというふうに思っております。

さらに、これらの計画に基づき、地域活性化策を推進するため、先ほど紹介がありましたけれども、組織機構の見直しがありまして、今年度から本庁の企画部総合政策課にありました地域政策班という1つの班を「まちづくり課」という形で独立させたところでありまして。また、各支所には「地域活性化推進室」、先ほど説明がありましたけれども、設置させていただいたところでありまして。新たな10年を進めるに当たりまして、地域の特性や独自性、特色ある地域資源を活かし、創意工夫に富んだ様々な取り組みを展開してまいりたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、地域枠予算につきましても、創設から10年目の節目を迎えることから、制度の検証、評価を行った上で、各地域協議会からのご意見をいただきながらガイドラインの見直しを図ってまいりたいというふうに考えておりますので、この点につきましてもよろしく願いしたいと思っております。

続きまして、ここ太田地域のお話を若干させていただきたいと思っております。現在、市では災害被害のない、住み良い地域社会の実現に向け、自主防災の必要性を呼びかけているところではありますが、太田地域では昨年度、自主防災組織の結成率が100%を達成したところでありまして。大仙市全体の結成率が昨年度末で70%弱という状況にありますので、いかに太田地域の皆様の防災に対する意識が高いかということ強く感じたところでありました。ありがとうございます。

今年の6月にはここ太田地域におきまして「秋田県消防協会大仙仙北美郷支部総合防災訓練」が、大町地区や大台スキー場駐車場などを会場に開催される予定となっております。地域の自主防災組織連絡協議会が主体的に開催に向けた準備を進めていると伺っております。大変強く感じているところではありますが、よろしく願いしたいと思っております。

より災害に強い、安全安心な地域づくりを進めるためにも、地域住民の皆様から多数参加していただきまして、災害に対する心構えや対応を肌で感じていただきたいというふうに思っております。

もう一つ、農業分野のお話をさせていただきたいと思っております。現在、皆さんご承知のとおりここ太田地域では東今泉地区と小神成太田地区ではほ場整備が実施されております。このほかにも、今年度は斉内地区が事業採択予定であり、また、32年度以降の採択に向けて動き始めている地区もあるようであります。

ほ場整備をはじめとした農業生産基盤の強化や生産性の向上は、望ましい農業経営を実現する上で大変重要な取り組みであるというふうに思っておりますので、受益農家の皆様の負担軽減や、経営の安定化に向けた様々な支援をしてまいりたいというふうに考えております。

以上、市の取り組みなどにつきまして若干お話をさせていただきましたけれども、大仙市では今後ともこうした取り組みをはじめ、本市の発展・飛躍につながるような施策を展開するとともに、市民と行政との協働のもと、市民が誇りと責任を持って活躍できるまち

づくりを引き続き進めてまいりたいというふうに考えておりますので、地域協議会の委員の皆様にはこれまで以上のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりました。本日の協議会が実りあるものとなり、地域発展に資する契機となりますことをご期待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。大変長くなって申し訳ありませんでしたけれども挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。終わります。

#### ○支所長

ありがとうございました。

それでは、本日の案件に入りたいと思います。本日の協議会は、委員の2分の1以上の出席がありますので、本協議会は成立いたしましたということをご報告いたします。なお、会議録作成のため、発言の際はマイクのご使用をよろしくお願いしたいと思います。

それでは、会議の進行につきましては、規定により高橋会長にお願いします。よろしくお願い致します。

#### ○会長

それでは、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

伊藤勝良委員、大信田孝文委員、お二方をお願いいたします。

それでは、次第5の「協議」に入ります。

はじめに「平成26年度地域枠予算実績報告について」であります。事務局の方から説明をお願いします。

#### ○事務局

【平成26年度地域枠予算実績報告について、配布資料に基づき説明】

#### ○会長

ただいま平成26年度地域枠予算実績報告ということで事務局の方から説明がありましたけれども、皆さんの方からご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。はい、大信田委員。

#### ○大信田孝文委員（以下「大信田委員」と表記）

昨年度を振り返りの中で、今の説明の中で立教大学の合宿招致を推進するというような部分で、今現在どういう状況になっているか、ちょっと説明を受けたいと思います。

#### ○支所長

それでは、昨年度は私も関わってましたのでちょっとお話しさせていただきます。多分質問が出るだろうなとは思ってました。

それで、立教大学硬式野球部ですけれども、昨年の秋に招致活動に行っていました。

監督さん、部長さんと懇談して、2カ所、太田と山形と最終的に競争になりまして、今年4年生になりますマネージャーがおりますけれども、マネージャーの出身地の山形に今年に行くということの決定を、連絡を受けております。今回は残念でしたけれども、部長さんをはじめOBの方々はまた太田に、せっかく来ていただいているので復活して、今年はダメでも来年ということでまた検討しますという返事はいただいておりますので、またさらにアピールは続けていきたいと思っています。

硬式野球部は来ませんけれども、同じく立教大学の準硬式野球部の方からは今、打診は受けていますので、おそらく今年も来てくれるのかなとは思っています。

それと高校関係は、例年どおり東京学芸大附属高校さんの方は昨年度から予約していきましましたので、必ず来てくれるものと思っています。それ以外については今、スポーツ振興課の方がメインでいろんな、太田ばかりでなく球場を持っていますので、その調整をしているという状況です。以上です。大変残念ですけれども、申し訳ありません。

#### ○佐藤太田支所農林建設長

よろしいですか。米はですね、合宿所の米は太田の米をずっと引き続き食べていただいております。

#### ○会長

他にご質問ないでしょうか。

(「なし」の声あり)

#### ○会長

ないようですので、本件についてはただいま説明がありましたとおりでいうことでございます。

次に「平成27年度地域枠予算執行事業について」であります。事務局の方から説明をお願いいたします。

#### ○事務局

【平成27年度地域枠予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

#### ○会長

ただいま27年度地域枠予算執行事業についての事務局の方からの説明がございました。皆さんの方からご意見、ご質問をお願いいたします。はい、水谷委員。

#### ○水谷英明委員（以下「水谷委員」と表記）

少年少女野球教室なんですけれども、ちょっと私は行ったことはないんですけれども、参加者はスポーツ少年団となっていますけれども、見学というのは対象者だけでしょうか。



○支所長

お答えします。ご自由に。野球場を使ってやりますので、誰でも入れますので、どうぞ。どうしても選手と記念写真が撮りたければ交渉しますので、どうぞいらしてください。

○水谷委員

ありがとうございます。

○支所長

ちなみに、元近鉄バファローズの六郷出身の村田辰美さん、あと多分言っても分からないのかなと思いますけれども一応、小西秀朗さんという秋田市の方と、それから山内英雄さんという、西武だったかな、あともう一人まだ具体的に決まっていないということで、とりあえず4人は来ることになっていますので。

ちなみに、村田辰美さんは会長と同級生で、来れば必ず同級会をやっているみたいですので、情報としてです。

○会長

他にございませんか。はい、伊藤委員。

○伊藤勝良委員

伊藤です。地域づくり講座等実施事業というのがありますけれども、学校の方で今回講演会をやりたいというような話がちょっと出ていて、三本扇の田口電気さんの三昭さん、バンダイの社長さんになったということで、中学校と一緒に、社長さんから来てもらって講演してもらえばいいなというような話がちょっと出ていたので、そういうのにこの事業を使っていくことができるのかどうかというのをちょっとお聞きしたいです。

○支所長

お答えします。大丈夫です。大丈夫ですけれども、多分情報によれば今年度は忙しくて無理だという話がどこからか聞こえてきました。

○谷口太田支所市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

すみません。川原委員と確かお友達の。

○川原猪利委員（以下「川原委員」と表記）

そんなに友達というわけではありませんけれども、同期生です。それで、前の鈴木支所長さんの方からご依頼を受けまして、連絡しました。大仙市の、首都圏の方で社長さん方のセミナーのときに云々ということでしたけれども、そもそものところでまだ6月の株主総会が終わっていないと。そのときに社長に選任される予定だと。まだ社長ではないよと

ということです。それと、実際就任してからもああいう企業なものなので自分で実績を残せるかどうか、まだ非常に不安だと。ずっと前にガチャポンという、皆さん分かるかと思いますが、そういった本当に大ヒットみたいなものを何か出して自分で実績を残せば、そうすればいつかは、という話はされていました。ということです。

#### ○支所長

ありがとうございます。

#### ○会長

他にございませんか。はい、大信田委員。

#### ○大信田委員

昨年、太田地域を語る市民の集いということで各集落とかでやったわけで、初めてやったわけですが、今年度も引き続いてやるのかどうかというふうなこと。それと、もしやるとすれば昨年はちょっと出席率がかなり芳しくなかった地域が多かったというふうなことで、それに対する、みんなに集まってもらう手法を考えているのかなという部分と、よろしくをお願いします。

#### ○市民サービス課長

市民サービス課の谷口です。ただいまのご質問にお答えしたいと思います。

去年10カ所で開催いたしました。言い方は悪いんですけども、比較的上太田の方はたくさん出席いただきました。下太田の方に行きますとどうも、7月に入っていたんですけども畑の作業が忙しくて。6月はけっこう出席していただきました。田植えが終わってちょっと一息ついた頃でした。それで、7月に入りましたら今度は転作作物、畑作業が忙しくて行けないというような声がたくさんございました。土曜日それから夜とかも計画しておりましたが、どうも太田の人たちは役所の会議に休みの日に来るとか夜に来るとかということに慣れていないようですので、むしろ平日の昼間の方が集まりがいいような感じです。

ということで、今年度どうするのかなということをまず一つ考えていることと、まず去年と同じやり方だと去年来て下さった方も飽きてしまうのかなということで、今年は実は活性化室とも相談しているんですけども、自分の方で話を聞きたいとかという要望があれば、そこに出向くかなということで一つ考えています。あと時期的にこれからちょっと、去年10カ所回ったんですけども、細かく回らなくてももう少し大括りの、例えば長信田の方では永代、川口、今泉を含めて敬愛館で開くとか、太田を含めて小曾野の辺りで開くとか、ちょっと大括りで開いてみようかなということで考えている最中です。

去年は地元の議員から出てもらうということもありましたので、6月の議会が終わってすぐ開いたこともありまして、農家の人たちが忙しい時期と重なったこともありまして、今年はお出向くメンバーとか開催時期だとか開催場所だとか、あともう一つ、地元の要

望を受けてそこに行こうかなというようなことを考えていますので、ちょっとこれから時間をかけて考えたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。大信田委員の方から何かこういうふうになればいいとかというアイデアとかありましたら伺えればと思います。去年大信田委員からも敬愛館の方に来ていただきましたので、感じたこととかもしあれば、あとで教えていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

○会長

よろしいですか。

○支所長

すみません、私の方から補足させていただきます。市民サービス課長がお話ししましたけれども、それを受けてということもありまして、4月から活性化推進室で部落総会の方に出席させていただいてございます。各総代さん、会長さんに連絡して。総会の席の方が人が集まるだろうということと、それから総会ですと幾分一杯が入って和やかに、いろいろな本音が出るということで私も4月から3回、4回、職員も夜休みですけれども出向いて行って皆さんと懇談しておりますので。今泉さんについても3日総会だということで出席する予定になってはいますが、よろしく願いしたいと思います。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようであれば、「太田黄桜まつり開催支援事業」について、承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。承認いただきました。

次に「少年少女野球教室 in おおた開催支援事業」についても承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。承認いただきました。

これで、今回提示されました事業につきましてご承認いただき、ありがとうございます。  
以上で、地域枠予算執行事業の協議の方は終わります。

次に「太田地域振興計画（案）について」であります。事務局の説明をお願いいたします。

#### ○事務局

【太田地域振興計画（案）について、配布資料に基づき説明】

#### ○会長

ただいま、地域振興計画（案）について、事務局の方からの説明がありました。皆様からご質問、ご意見をお願いいたします。

#### ○市民サービス課長

すみません、市民サービス課の谷口です。実は3月の第6回地域協議会におきまして、水谷委員から「みとり」ということで提案をいただきました。よく考えましたら、太田には診療所に阿部先生という大変すばらしいお医者さんがおります。ということで、水谷委員の発言もありましたけれども、太田だからこそできることがあるのではないかとということで非常に心にありまして。かと言って何ができるかというとすぐには分からなかったんですけれども、ちょっと診療所の阿部先生、他の福祉団体等と連携を図りながら、太田だからこそできる部分があるかないかということをやっとここに盛り込みたいということで、ここら辺を大幅に加筆修正していただきました。大変良い考えというか、良い発言がありましたので、そこら辺をこれから、何ができるか今の時点では全く分からないわけですが、地域協議会の皆様とともに何か作っていききたいなというふうに考えておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### ○水谷委員

意見を取り上げていただいて、どうもありがとうございます。太田診療所とか具体的なものが出来たので、上の方だとなんとなくどこにでも書いてあるような内容なのであまり興味を示さないかもしれませんが、具体的なものが出てくるとやはり住民の方も見たときに目がいくんじゃないのかなと思ひまして、今後こういう施策を進める上では非常に良く書いていただいたなと思ひます。どうもありがとうございます。

#### ○会長

皆さんの方からご質問、ご意見ございませんか。はい、川原委員。

#### ○川原委員

川原です。15ページの内容2のところですけども、市長さんが思った、地域をこういうふう受け取ったということで大変うれしく思ひております。「豊かな産業のまちづく

り」の前に「農業を軸とした」ということで、非常に心強いというふうに感じております。これが振興計画といいますか、本当に基本中の基本ということになると思うので、ぜひこの後様々な施策については「農業を軸とした」ということが加筆されたということで、様々な面で考慮していただきたいというふうに思います。以上です。

#### ○会長

貴重な意見ありがとうございました。  
他にございませんか。

(「なし」の声あり)

#### ○会長

なければ、「太田地域振興計画(案)」については、承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○会長

ご承認いただきました。ありがとうございます。  
次に、次第の6です。「その他」ということです。コミュニティFMについて、事務局の方から説明をお願いいたします。

#### ○事務局(富樫総合政策課参事)

【コミュニティFMについて、配布資料に基づき説明】

#### ○会長

ただいま「コミュニティFM」について、事務局の方から説明がありました。皆さんの方から何かご意見、ご質問ございませんか。はい。

#### ○水谷委員

水谷です。最後の方のラジオについてなんですけれども、仕様とかデザインについては、選択ではなくてこれから新しいものとかも受け付けはするんですか。

#### ○富樫総合政策課参事(以下「富樫参事」と表記)

本当であれば仕様とデザイン等について市民の皆さま方から広く意見を伺った方がよろしいかと思うんですけれども、そうになってしまうと意見の集約というのが非常に難しゅうございまして、ある程度こちらの方からデザインについては3パターン、大仙市らしい花火をモチーフにしたものというようなことで3パターンを提案させていただきました。

仕様についても、いろいろと機能もあるかと思えます。ただ、その機能が増えれば増え

るほど金額が残念ながら跳ね上がってしまうと。なので、例えばこの中でAMがなぜ無いんだというようなお話があるかと思うんです。FM3局という話になっていますけれども、ラジオにはAM放送もあるんですけれども、残念ながらAMとなりますとなかなか受信が難しい。屋内で聞くというのが、いわゆるいいお家に住んでいけば住んでいるほど高気密高断熱という話になってくるんですけれども、自宅でAMラジオって聴きづらいんですね。我々がよくラジオを聴いているカーラジオというのが一番条件としてはいいらしいです。そういうような状況で自宅の中でAMラジオを聴くとすると、非常に難しいというふうなこともあるので、まず最低限FMはなびは聞こえるというようなところで、FM3局というような仕様にさせていただいたところでした。くどくなりますけれども、先ほど言ったように仕様ができれば増えるほど金額が1万円ではきかなくなるというようなところもありまして、そういった仕様にさせていただいたところでした。

### ○水谷委員

ただ、話は分かるんですけれども、やっぱり今の一般的な料金とか内容の仕様からしますと、防災の専門ということを考えれば仕方ないというか、そうかもしれないんですけれども、一般的にこれを1万円を買うかどうかとなるとかなり難しいんじゃないのかなと思うんですよ。先ほどおっしゃられたように高齢者の方とか学校とか、そういうところには多分市のお金で出すということなんでしょうけれども、やはり広めるとなるとちょっとこれはなかなか難しいのかなという感じがするんですよね。先ほどの放送局もそうですけれども、例えばFMはなびを他の放送で聴けるとなると普通の一般のラジオも使えるわけですし、ということは防災のためにだけ買うという考えになりますよね。その時に一般の住民がこれで1万円というのはなんか難しいんじゃないのかなというような気になるんですけれども、どうでしょうか。

### ○富樫参事

確かに高価であるというふうなことは十二分に分かっております。ただ、これが逆に、鶏・卵の論理にもなりまして、いわゆるロット数が増えれば増えるほど1台当たりの単価というのは安くなるんです。7千円、8千円というものでも高いとは思いますが、実際に市販で売られてある防災ラジオの単価というのが7千円から8千円くらいで流通されています。ただ、それが地元産になると、大仙市で作るというようなところで、どうしてもコストが高くなって1万円になってしまうということで、このFMはなびの防災ラジオだけが突出して高いわけではなくて。実はもう、皆さん方ご存じないとは思いますが、防災ラジオというのは市販のものでも販売されておりまして、その単価というのが7、8千円するんですね。というのは、そのラジオ局専用となるわけですよ。緊急告知で自動的に電源が入るということは、その87.3MHzに合った、その仕様に合ったラジオを作らなければいけないということで、我々が一般的に電気屋さんで買うラジオというのは広く遍くどこのラジオ局も聞こえる。そういったことで、ロット数が全く違うのでどうしても1個当たりの単価は高くなってしまふのかなと。ただ、委員が言われるよ

うに確かに1万円もするようなラジオを市民の人が買うのかなという、そういった部分は了解できるので、少しでも市の方で助成をして、いくらになるかはちょっと分からないんですけども、できるだけ安価とは言いませんが、負担が少ないような方法で買っただけのような、また、情報弱者、「弱者」という言葉を使っちゃうのはどうかと思うんですけども、そういった方々には無償で貸与して、安全安心というような形にさせていただきたいというふうに、そういった形で今話を進めております。

## ○副市長

2分の1をベースとして今検討させていただいていますけれども、2分の1の補助率で5千円で。いわゆる低所得者とか情報弱者、高齢者の方とかには無償でという、そのとおりなんですけれども、一般の方がもし買われる場合には、市の方で2分の1の補助というようなことを今ベースに検討しています。まだ確定はしていませんけれども、そういうことで。

一般に安い防災ラジオ、市販されている防災ラジオを7、8千円で買ったらいんじゃないかとおっしゃるかもしれませんが、実はやはりオリジナルの、地元で作れるというお話があったので、地元の企業で作れると。ただ、地元の企業でも作れるといっても、これが1万5千円とか2万円かかると言われたら、もしかするとちょっと断念したかもしれないんですけども、どうも頑張って1万円くらいでできそうということなので、だったらぜひ地元の企業の支援ということもあるし、もしかすると雇用にもつながると。これはメンテナンスもその会社にお願ひしていこうかなというふうに思っていますので、そういう地元の企業の支援・雇用と、そういった部分もあるので頑張って。北斗通信工業さんも頑張っていただけるということなので、市としてもそういう意味で頑張りたいなというふうに思っています。いろいろ難しい点はありましたけれども、なんとかそういう方向で頑張っていこうということで今決まりましたので。これも北斗さんの方から出てきた案ということなので、そこまで今出来上がってきているということでもよろしくお願ひしたいと思います。

全戸配布、全世帯にこの1万円のラジオを配布したらいいんじゃないかとおっしゃる方もおられるわけですけども、3万世帯を超えるんですけども、3億円くらい。なかなかすぐには厳しいなということで、こういうふうな感じになっていますけれども。

今は一般世帯なので、できれば商店さんとかそういういろんなところでも用意していただければ役立つのかなと。災害というのは本当に、最近は忘れたころでもなくしょっちゅうきますけれども、ほとんどが地域密着情報を得るという、そういうラジオになるのかなと。災害というのは本当にいざというときしか。ですから、どちらかというところの他の部分の使い道の方がたくさんあるので、そういった面も考えて用意していただければなというふうに考えていますけれども。いろんな施設で、例えば高齢者の方が集まる施設、町内の皆さんが集まる施設にそういうラジオがセットされているというのはある意味ではいいことかなとは思っていますけれども。

## ○水谷委員

そうですね。できれば普段いつも使えるような、身近に置けるような感じにしていればより使いやすいとか、買いやすいとか。私もFMはしょっちゅう聴いていますのでありがたいと思いますけれども。特別に分けられると、これはこれでというふうになっちゃうので、普段も使えるように頑張って作っていただければすごくありがたいと思いますので、よろしくをお願いします。

## ○支所長

写真で見れば大きそうになって見えるけれども、12cmくらいですね。

## ○富樫参事

12cmくらいの大きさですし、電源につきましてはACアダプターでも乾電池でも、単3の電池を考えていますけれども非常用に。できればACアダプターにいつも電源を差し込んでいただけるような。

農作業をしているときの、例えばハウスの中とかそういう作業小屋の中で。田んぼをやっている人がたは外で聴くというのはなかなか難しいでしょうけれども、ハウス栽培とかしている方にはぜひ、歌謡曲も流れますし。私が説明するので行政情報ばかり流れるのではないかと。そうではないです。ほんの一枚行政情報が流れるだけで、あとはTMO大曲という運営会社が面白おかしく番組を作っていますので、ぜひ聴いていただきたいと思いますので。リクエストいただければ好きな曲も流しますので、よろしくお願ひしたいと思います。

## ○会長

水谷委員、よろしいでしょうか。他にございませんか。

(「なし」の声あり)

## ○会長

ないようです。そうしますと、本件についてはただいま説明がありましたということで承認をいただきました。

以上で本日の議題となりました案件については、全て終了いたしました。

本日はせっかく副市長さんもいらしていますし、本庁の方からおいでですので、皆さんの方からこの機会に何かありましたらお願いいたします。太田地域のお願いだとか分からないところとか、何でもいいのでありましたらお願いいたします。

## ○副市長

会長、私から一つ。今年10周年ということで、それからいろんな大きな、今日地域振興計画ということで太田地域の振興計画、いろいろ大事な計画を27年度は立てる年、本



当に大仙市で一番大事な総合計画というのを、28年度からスタートするこの計画を立てる年ということで。今年は農業振興計画も立てる年、それから国から言われている地方版の総合戦略も立てなければなりません。いろんな計画を立てる大事な年であります。それと連動する形で実はまちづくり課というのを本庁、それから支所には地域活性化推進室というのを作って、計画を実行していくということももちろん大事ですし、また新たなそういう地域活性化策、やっぱり先ほどもちょっとお話をさせていただきましたけれども、この地域をなんと活性化、地域おこしをなんとするんだという、この地域に誇りを持っている人たちがやっぱり先頭にならざるを得ない、先頭になってほしいというふうに思っています。

大仙市全体の地域活性化はもちろん大事、それが目的ですけれども、それぞれの地域に地域活性化推進室を作って、それぞれ地域の特性は違いますので同じやり方は通用しないと思っていますので、そういった意味で今回地域活性化推進室、室長は支所長、それから公民館長も入っていますし公民館の高橋君も入っている。それからここにいる2人が専任で入っているわけで、ぜひこの地域活性化推進室を活用なりなんなり、叱咤激励なり何でもいいですけども、この太田地域のためにいろんな活性化策が進められるように皆さんからもご協力をいただければというふうに思っております。

実は組織機構の再編というのを今年市役所、平成23年4月に大きく市役所なり支所、組織を変えたわけなんですけれども、それが5年経つということで、果たしてそれで良かったのかどうか、また、こうすべきではないのかというのを今年1年やるということなので、この地域活性化推進室の頑張りが、支所には絶対こういう企画立案部門が大事なんだということアピールしていただくためにも今回の地域活性化推進室には、大変でしょうけれどもいろいろ地域のために頑張してほしいなというふうに思っているところであります。これは決して他の支所と比べてどうのこうのという、そういうことは何もなく、お話し申し上げるつもりもなく、やはり地域によって全然事情が違っているので、その地域に合った取り組みということを見つけて。すでに地域振興計画案がまとまっているんですけども、それに含まれている、含まれていないを別にしていろんなことを考えて、また実践してほしいなというふうに思っていますので。今年はそのような年だということを少しお話しさせていただきたいと。よろしく願いいたします。

## ○会長

皆さんの方から何かございませんか。

(「なし」の声あり)

## ○会長

ないようです。

これをもちまして、本日の協議会を閉じたいと思います。長時間にわたりありがとうございました。

(午前 11 時 20 分 閉会)

---

太田地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊 藤 勝 良

---

大信田 孝 文

---